



## 緑内障と健診

緑内障という病気は、徐々に視神経にダメージが蓄積され、組織学的な萎縮を伴い徐々に視野障害が進行していく病気です。現時点でまだ完治させることができない病気の一つです。

緑内障の患者さんは潜在的に多く、多くの場合は健康診断などで発見されたり、別のことで眼科受診をしたときに偶然に発見されたりします。

完治させる方法や発症予防する方法がまだないために、**早期発見による進行予防**が重要になります。緑内障の健診は、眼底検査を受けることで始まります。健診を通じて、緑内障の早期発見に努めております。

## 緑内障の検査

緑内障の一般的な検査は、視力や眼圧検査以外に見える範囲を調べる**視野検査**と網膜の構造的な変化をみる**OCT**（眼底三次元画像解析）があります。これらを定期的に行うことで、再現性の有無、連続性などを確認して目標眼圧などの治療方針を変更していきます。

## 緑内障の治療

現時点で科学的に立証されている治療法は、**眼圧を下げる**ことで視野進行を遅らせることです。眼圧を下げるために点眼治療、レーザー治療、手術治療などがあります。眼圧を低く保つことが、視野を維持していくために最も効果があります。



## 眼圧以外の治療ターゲット

古くから眼圧以外の緑内障治療に効果のある因子が研究されてきました。その中でも、**血流障害**と**酸化作用**が、病気の進行に影響を及ぼしている可能性があることがわかってきました。

眼圧のコントロールが治療のメインになりますが、眼圧がコントロールされていても病気の進行が早い場合には、眼血流の改善をはかることや、抗酸化作用をもつサプリメントなども併用して、治療を補強していくことが有効かもしれません。